

9月議会 主な質問

①分権時代の市民参加について

市民参加の条例は、枚方市議会においても以前から度々提案されたが、現在まで制定に至らなかった。そこで今市が制定しようとしている条例の内容について質問。

その中で特に地方分権が進む現代、市が決めたものに単に市民が参加をするだけではなく、市と対等な立場で市民が主体的に地域の課題解決ができる仕組み作りを提案しました。

②児童生徒保護者に信頼される教育現場について

昨年から今年まで続いた小学校での体罰事件など、教育現場で今までにはなかったような事件が起こっている事から、本市の教育で何か構造的・体質的なものがあるのではないかと、市としての受け止め方、又今後の取り組みについて質問。

その上で今後、各学校現場ではトップはあくまでも校長、その許に教頭、各教諭がしっかりと連携をして、さまざまな問題解決をしてゆくべき、と強く訴えました。

③公園のあり方と課題、今後の取り組みについて

市内にはマンション開発などで市の管理となる公園も増え、維持管理費が増加し続けていると思うが、現代は公園も同じようなものが数多くあれば良いという時代ではなく、地域の特性に応じた特色ある公園作りが重要である。そこで市の公園設置の考え方について質問。

その上で我が会派が長年要望してきた、ドッグランの設置を再度要望。そして、地域によっては複数ある公園の中にも、少子化によって利用されなくなった公園もあり、そうした場合は自治会館の設置など、地域の要望に応じて活用できる仕組みを強く要望しました。

④学校給食について

市民から要望の強い中学校給食について、市としては共同調理場整備のあと平成28年度から給食の実施を予定されているが、それでは現在の生徒には間に合わない。我が会派では一年でも早い実施を望む市民の声に応えるために、給食の早期実施と、それまでの対策として、何らかの形で昼食を手配する仕組みを要望してきた経過から、その進捗について質問

その上で更に、来年から予定しているという昼食支援を再度つよく要望しました。

⑤留守家庭児童会室について

昨年の決算特別委員会でも指摘した府下でもトップクラスの本市の保育料について、今までは運営経費の50%を保育料として保護者から負担してもらおうという事で9200円としてきたと聞いてきたが、23年度ではそれが30%になっているとの事。保育料算定の根拠があいまいであり、再度、保育料の見直しを要望しました